



データベースで国立国会図書館の活動を知る――

確かな情報へのナビゲーション

国立国会図書館

データベース
フォーラム

入場
無料

京都

平成26年9月17日(水)
13:30-16:30 (休館日)

東京

平成26年10月30日(木)
13:30-16:30 (開館日)

会 場：国立国会図書館 関西館 大会議室
テーマ：遺跡研究から見る図書館とデータベース

会 場：国立国会図書館 東京本館 新館講堂

申込み・詳細

京都会場は7月23日から、東京会場は9月24日から国立国会図書館ウェブサイトにて受付を開始します。
<http://www.ndl.go.jp/jp/event/events/dbf2014.html>

お問合せ先

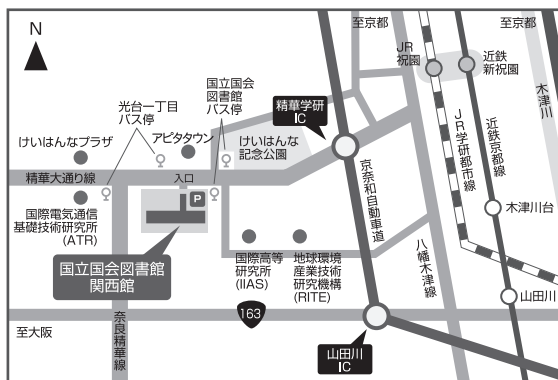
京都会場：関西館 総務課 電話：0774-98-1247
東京会場：電子情報部 電子情報企画課 電話：03-3506-5235

国立国会図書館 確かな情報へのナビゲーション データベースフォーラム

入場
無料

京都会場

- 日時** 平成26年9月17日(水)【休館日】13:30～16:30
* 希望者にはフォーラム終了後に館内見学を実施します。(要事前申込み)
* 当日は休館日のため、通常の閲覧サービスは利用できません。
- 定員** 300名(先着順。定員になり次第受付を終了します。)
※館内見学の定員は100名です。
- 会場** 国立国会図書館 関西館 大会議室
〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3



<電車・バス>

- JR学研都市線「祝園駅」、近鉄京都線「新祝園駅」から奈良交通バス36番系統「光台循環」、41・47番系統「学研奈良登美ヶ丘駅」行き「国立国会図書館」バス下車
 - 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」から奈良交通バス41・47番系統「祝園駅」行き「光台一丁目」バス停下車
- <お車>
- 京都方面より：城陽I.C.(京奈和自動車道)→精華学研I.C.→精華大通りを西へ
 - 大阪方面より：国道163号→府道52号(奈良精華線)を北へ
 - 奈良方面より：国道24号→国道163号→府道52号(奈良精華線)を北へ

内容 「国立国会図書館データベースフォーラム —遺跡研究から見る図書館とデータベース—」

13:00 開場・受付開始

13:30-16:30 フォーラム開催

- ・ イントロダクション
- ・ 基調報告「遺跡の調査・研究とデータベース」
森本晋氏(独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所企画調整部文化財情報研究室長)
- ・ プレゼンテーション

・ ディスカッション

※閉会后、希望者を対象として館内見学会を実施

申込み 7月23日以降、ウェブサイトの専用ページからお申込みください。フォーラム後の館内見学も同ページから申し込むことができます。
<http://www.ndl.go.jp/jp/event/events/dbf2014.html>

京都会場 お問合せ先

関西館 総務課 電話:0774-98-1247 (直通)

東京会場

- 日時** 平成26年10月30日(木)【開館日】13:30～16:30
* 希望者には新館書庫見学を実施します。(要事前申込み)
- 定員** 300名(先着順。定員になり次第受付を終了します。)
※新館書庫見学の定員は各回45名です。
- 会場** 国立国会図書館 東京本館 新館講堂
〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1



<東京メトロ>

- 有楽町線「永田町駅」2番出口(A) 徒歩約5分
 - 半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口(B) 徒歩約8分
 - 千代田線・丸ノ内線「国会議事堂前駅」1番出口(C) 徒歩約12分
- <都営バス>
- 橋63系統「国会議事堂前」(D) 徒歩約5分

内容 13:00 開場・受付開始

13:30-16:30 フォーラム開催

- ・ 第1部：調べ物のベストパートナー
- ・ 講演「デジタル人文学と図書館」
永崎研宣氏(一般財団法人人文情報学研究所主席研究員・東京大学大学院情報学環特任准教授)
- ・ 第2部：広がるデジタルアーカイブの世界
- ・ 第3部：国会の情報や法律を探る・調べる

※ 希望者を対象として新館書庫見学会を実施

申込み 9月24日以降、ウェブサイトの専用ページからお申込みください。新館書庫見学も同ページから申し込むことができます。

<http://www.ndl.go.jp/jp/event/events/dbf2014.html>

東京会場 お問合せ先

電子情報部 電子情報企画課 電話:03-3506-5235 (直通)

過去の参加者アンケートから



国立国会図書館が身近になりました。今後、大いに活用したいと思います。

「れきおん」について詳細を知ることができました。見る資料に限らず、聴く資料も収集していることに驚きました。



毎年、少しずつ違った説明をしていただき、大変勉強になります。ありがとうございました。

概念的な話と、実用的な話の両方がありよかったと思います。家に居ながらにして多くの資料がアクセスできることを望みます。